

よくある質問

Q. 振替先にできる東京大学の科目に制限はあるか。

A. 振替のできる本学部の科目は次のとおりとなっております。

教養学科の分科科目、言語専門科目及び国際日本研究コース科目、学際科学科及び統合自然科学科のコース科目、高度教養科目、言語共通科目、学融合プログラム科目、特設科目のうち後期T L Pの授業科目。

コースごとに別途制限を設けているケースがございますので、ご所属のコースにご確認ください。

単位数の制限については、参加プログラムにより異なるため、便覧でご確認ください。

また、すでに履修済み、もしくは履修中の科目に振り替えることはできません。

Q. 振替先の東京大学の科目の開講時期に指定はあるか。

A. 原則として申請した学期、もしくは留学中の学期に開講実績がある科目となります。

Q. 講義のシラバスに授業日程が書いていないがどうすればよいか。

A. アカデミックカレンダーなど授業のスケジュールがわかる別の資料を必ずご提出ください。

Q. 留学先での成績がそのままつけられるのか。

A. 東京大学の成績証明書上では、認定されれば成績に関わらず、東京大学の振替先の科目を合格、として記載されます。

Q. 留学先で受講した講義を、東京大学の何単位の講義に申請できるかわからない。

A. 原則105分×13回(1,365分)の時間以上であれば、時間数としては2単位の講義分と考えられます。

Q. 留学先で言語を学ぶ講義を受講したが、便覧の言語共通科目表に履修した言語の記載がない。単位として認められるか。

A. 現時点では、言語共通科目表に記載がある言語を学ぶ講義のみ言語科目として申請いただけます。高度教養科目の「海外研修」としては認められる可能性がございますので、ご所属のコース主任とご相談ください。

Q. 留学許可願や休学届（海外修学）を出さずに留学した。単位を認定してもらえるか。

A. できかねます。

Q. 申請前に東京大学の振替先の科目の担当教員に相談する必要はあるか。

A. 相談する必要はございません。申請時点では、ご所属のコース主任にのみ認めていただく必要がございます。

Q. 提出資料の言語の指定はあるか。

A. 極力英語、もしくは日本語の資料をご提出ください。他の言語の資料しかない場合は、必要に応じて補足説明資料を英語、もしくは日本語でご作成の上資料と併せてご提出ください。